

第3学年 外国語科学習指導案

令和4年 10月20日 5校時

石垣市立大浜中学校

指導者 宮崎 健

1 単元名 Program4 Sign Languages, Not just Gestures! (Sunshine English Course 3 P51-69)

2 単元の目標

社会的な話題 (ASL (アメリカ手話)) についての英文を読んで概要、要点を捉えるとともに、その内容をもとに自分の意見や考えを伝え合うことができる。

Can-Do List (別添) 3年生の到達目標「読むこと (ウ)」

社会的な話題に関するエッセイなどを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握することができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領 (平成29年度告示) の「読むこと」に関連する内容を取り扱い、「ウ. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする」ことを目的とする。

言語材料は「現在分詞」「過去分詞」である。

題材としては、ASL (アメリカ手話) の学習を通して、多様な他者とコミュニケーションをとるための手段や方法を学ぶといった社会的な話題について取り上げられている。このような社会的な話題についての英文を読んで、概要、要点を捉えるとともに、自分の考えや感想などをまとめ、友人と協力しながら、お互いの意見を伝え合う機会としたい。

(2) 生徒観

生徒たちは互いに協力してペア活動に取り組み、英文で伝え合う活動では間違いを恐れずに、意欲的に取り組むことができる。しかし、机間指導の際、誤った英語の語順や英語表現、単語だけで話をしている、などコミュニケーションにやや支障をきたす伝え方をしている生徒も多くみられる。

今年度6月に行われた学びのたしかめで無回答の多かった問題を見ると、まとまりのある英文を読んで概要や要点を捉えるような問題、英作文での課題が見られた。「読むこと」の領域において「話の概要を理解すること」や「必要な情報を読み取ること」が十分にできていない状況が伺える。また、英作文が苦手な理由に、「どのように書いたらいいのかわからない。」と答えており、基本的な語彙や文法の知識・技能の定着が必要である。

以上のことから、基本的な語彙や文法の知識・技能を身に付け、それらを活用して英文を読んだり、自分の考えや思いを伝え合うことのできるような、読んだり英語で表現する言語活動に計画的、継続的に取り組んでいく。

(3) 指導観

教科書の本文内理解では、それぞれ「リスニング」「音と文字の一致」「音読」「リテリング」「リライト」と5つの活動に区切り、バランス良く「読むこと」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の指導ができるようにする。特に、「リテリング」の活動では、聞いたり、読んだことの内容を、自分の言葉で伝えることができるよう重点的に取り組み、知識・技能を活用した、思考・判断・表現力の育成を目指している。「リテリング」の活動では、パフォーマンス評価を、ペアワークの様子や、面談形式でのフォーマンステストを行ってきた。しかし、生徒一人一人を十分に見取ることができなかつたり、試験に多くの時間がかかってしまうという課題があった。そこで、一人一台端末を活かし、ロイロノートで生徒のリテリングした音声を提出させ、一人一人の習得状況やパフォーマンスを見取るようにした。また、リテリングの練習の際、学習者用デジタル教科書で発音を聞き直したり、重要表現を確認するなどし、パフォーマンスを高めるために、自己調整をしている姿も目立つようになってきた。

本単元では、ASL について読み取った内容を伝え合い、そのことに関して自分がどう思うか、という活動に取り組みさせることで、生徒が主体的に読み取ろうとする態度の育成につなげたい。

4 単元の評価規準（読むこと）

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞を用いた文の構造を理解している。 ・「～している人」「～されているもの」など、人やものを詳しく表現することができる。 	ASL についての自分の考えを伝えるために、ASL についての対話やまとまりのある文を聞いたり、読むなどして、大まかな内容を捉えている。	ASL についての自分の考えを伝えるために、ASL についての対話やまとまりのある文を聞いたり、読むなどして、大まかな内容を捉えようとしている。
【評価方法】 単元テスト パフォーマンステスト	【評価方法】 パフォーマンステスト	【評価方法】 パフォーマンステスト 振り返りの内容

5 指導と評価の計画

	ねらい (■)・主な言語活動 (丸数字)	知	思	態	
1 2	■教科書本文から必要な情報を読み取り、読み取った内容を伝え合う。 ①本文を読む前に、手話やコミュニケーションに関して、やり取				

リテリングなどパフォーマンスの様子を音声や動画で記録に残すことで、生徒一人一人の形成的評価を行い、フィードバックを与えることで、自己調整学習を促す。

	<p>りをする。</p> <p>②本文の中で、現在分詞がどのように使われているかを確認し、対話文を要約して話す。要約した内容はロイロノートを使用し、音声を提出する。(第2時)</p> <p>③自己目標を確認する。(第1時)</p>			
3	<p>■教科書本文の要点を捉え、書き手の最も伝えたいことを伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第1、2時の続き)を読んで、概要や要点を把握する。</p> <p>②第1～2時の②と同じ活動に繰り返し取り組む。</p>			
4	<p>(本時)</p> <p>■教科書本文の概要や要点を捉え、伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第3時の続き)を読み、要点や概要を捉える。</p> <p>②本分内容についてリテリングを行い、ペアで伝え合う。</p> <p>③伝えることができるようになった内容はロイロノートを使用し、音声を提出する。</p>			
5	<p>■教科書本文の要点を捉え、対話文の中で最も伝えたいことを伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第1、2時の続き)を読んで、概要や要点を把握する。</p> <p>②第1～2時の②と同じ活動に繰り返し取り組む。</p>			
6	<p>■教科書本文の概要や要点を捉え、伝え合う。</p> <p>①教科書本文(第3時の続き)を読み、要点や概要を捉える。</p> <p>②本分内容についてリテリングを行い、ペアで伝え合う。</p> <p>③伝えることができるようになった内容はロイロノートを使用し、音声を提出する。</p>			
7	<p>■教科書本文全体のテーマについて自分の考えなどを伝え合う。</p> <p>①教科書本文で分詞表現がどのように使われているかを再度確認した上で、教科書本文全体のテーマに対する自分の考えを、本文に書かれていることを引用しながら、複数のペアと伝え合う。</p>			
8	<p>■教科書本文全体のテーマについて自分の考えなどをまとめる。</p> <p>①教科書本文で分詞表現がどのように使われているかを再度確認した上で、教科書本文全体のテーマに対する自分の考えを、本文に書かれていることを引用しながら、複数のペアと伝え合った内容から、自分の考えを整理し、まとめる。</p>	○	○	○

9	ペーパーテスト 自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。	○	○	○	
---	---------------------------------------	---	---	---	--

「読むこと」の評価のためのリテリング活動に関するルーブリック評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	読んだ内容について、学んだ言葉や表現を用いて正確に伝えることができる。	読んだ内容の概要や要点を把握し、必要な情報をとらえ、自分の考えや思いを付け加えて伝えている。	読んだ内容の概要や要点を把握し、必要な情報をとらえ、自分の考えや思いを付け加えて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、読んだ内容について、学んだ言葉や表現を用いて伝えることができる。	読んだ内容の概要や要点を把握し、必要な情報をとらえて伝えている。	読んだ内容の概要や要点を把握し、必要な情報をとらえて伝えようとしている。
c	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

6 本時の学習【4/9 時間】

(1) 目標

社会的な話題（ASL）について書かれた文章を読んで概要や要点を把握し、読んだ内容について説明することができる。

(2) 本時の授業の工夫

- ①単元を通して社会的な話題（ASL）について読み、口頭で要約するリテリング活動に継続的に取り組むことで、生徒一人一人が概要や要点を把握し、自分の言葉で内容を伝える力が身に付くようにする。
- ②ペアでの言語活動の後に、共通する誤り等、内容の伝え方や表現に関する指導を入れ（中間指導）、再度、言語活動に取り組ませることで、生徒の言語活動への意欲が高まると考える。

(3) 展開例

学習活動	○指導上の留意点 (T)教師の発問等 (S)生徒の予想される反応等	評価項目(方法)

<p style="text-align: center;">導 入 1 0 分</p>	<p>1 Greeting Review</p>	<p>○ASL について知っていることを、教師からの発問で思い出す。 (T)What do you know about ASL? What is ASL? How do you say "How are you?" in ASL? (S)ASL is American Sign Language. It's a sign language. ○隣のペアに ASL について伝え合う。 (S)ASL is a sign language in the U.S. "How are you!" is like this</p>	
<p style="text-align: center;">展 開 3 0 分</p>	<p>2 めあての確認</p> <p>3 新出語句の確認</p> <p>4 読むこと</p> <p>5 リテリング</p> <p>6 自分の考えを伝え合う</p>	<p>○ペア活動で単語を確認し合う。 (S)What's No.3, 5, 4, 9…. (S)there are. different, communicate….</p> <p>○シャドーイング ○本文を読んで、概要や要点を把握する。 生徒は伝えるために必要な部分を選択したり、パラフレーズを試みるなど、自分の言葉で話せるように、教科書内容を確認する。</p> <p>○ワークシートをもとに ASL について学んだことをリテリングする。 個人練習→ペア練習</p> <p>○学習者用端末のロイロノートを用いてリテリングを録音し、提出する。</p> <p>○ASL に対する自分の考えを、読んだ英文を引用しながら伝え合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Today's goal: 読んだ内容をもとに、ASL について自分の言葉で伝えることができる。</p> </div> <p>指導に生かす評価 【思考・判断・表現】 (概ね満足) 自分の考えをまとめるために、ASL について読んだことを、伝え合うことができている。 (方法：観察、音声) 【主体的に学習に取り組む態度】 (概ね満足) 自分の考えをまとめるために、ASL について</p>

			読んだことを、伝え合おうとしている。 (方法：観察、音声)
終 末 1 0 分	7 まとめ	<p>○ASL についての生徒の考えをまとめる。 (T)What do you think about ASL? (S)I think it's good. Because I can communicate with many people.</p> <p>○生徒が自分の考えとして英語で伝えられなかったことばをクラスで共有する。 例 (S)What is "BENRI" in English? (T)You can say "useful".</p>	
	8 振り返り	<p>○本時で、できるようになったこと、うまくいかなかったこと、次の目標や改善案などに視点を置き、振り返り活動に取り組む。</p>	

まとめ: Asl is good. Because if I know ASL, I can communicate with many people.

(4) 板書計画

Day: Thursday Date : October twentieth		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">メモ欄</div> 新しい表現や common Error を板書する。
単元のめあて) Sign Language について学び、それに対する自分の考えを伝え合う。		
Today's goal) 読んだ内容をもとに、ASL について自分のことばで伝えることができる。		
Question	<p>What is Sign Language?</p> <p>ASL</p> <p>American Sign Language</p> <p>There are different kinds of of sign Languages</p> <p>What do you think about ASL?</p> <p>生徒の考え</p> <p>まとめ</p>	